

令和4年度第1回龍ヶ崎市歴史民俗資料館運営審議会議事録

令和5年2月9日（木）
午後1時30分～3時
龍ヶ崎市歴史民俗資料館
2階 多目的室

出席者氏名

酒入 陽子	委員長	堤 利明	副委員長
秋山 卓也	委員	田中 伸吾	委員
佐藤 正好	委員	飯島 進	委員
沼田 公美子	委員		

事務局

教育長	大古 輝夫	文化・生涯学習課長	国松 美浩
同課課長補佐	山西 猛士	同課係長	由利 毅
同課課長補佐	油原 長武	同課主幹	鈴木 純司（書記）
同課副主幹	伊藤 卓世		

1 開 会

2 教育長あいさつ

3 委員紹介

4 委員長あいさつ

5 議 事

- ・議案第1号 令和4年度歴史民俗資料館事業報告について
- ・議案第2号 令和5年度歴史民俗資料館事業計画（案）について
- ・議案第3号 中期事業計画の進捗状況について

6 閉 会

○油原課長補佐
(開会)

○太古教育長
(挨拶)

○油原課長補佐
(委員の紹介)
(事務局紹介)
(酒入委員長を議長に選任。酒入委員長、議長席へ移動)

○酒入議長
(出席者が過半数に達しているため、会議の成立を宣言)
(議事録署名人として自分及び飯島委員を指名)

○各委員
「異議なし」

○酒入議長
議案第1号 令和4年度歴史民俗資料館事業報告について、事務局から説明願います。

○油原課長補佐
(資料に基づき説明)

○酒入議長
ご意見・ご質問などがありましたらお願いします。
特にご質問などがないようでしたら、令和4年度歴史民俗資料館事業報告については、可決するという事によろしいでしょうか。

○各委員
「異議なし」

○酒入議長
ありがとうございます。異議なしと認め、議案第1号「令和4年歴史民俗資料館事業報告について」を可決いたします。続きまして議案第2号「令和5年度歴史民俗資料館事業計画(案)について」、事務局の説明をお願いします。

○油原課長補佐
(資料に基づき説明)

○酒入議長
ただいま事務局から説明がありましたが、皆さまから何かご意見やご質問などがあればお願いします。

○堤委員
こちらに来る機会もなかなかなく、さまざまな事業を行っていたことを茨城新聞のスクラップで知り、うれしく思っています。5年度の事業も引き続き楽しみにしています。

○田中委員

まずは4年度たくさんの事業お疲れさまでした。このコロナ禍の中で祭礼の悉皆調査を進めていただき、非常に素晴らしいことと思います。

質問したいことが大きく4点あります。

①れきみん祭りについて、コロナ禍の影響かとも思いますが今年度は中止とあり、来年度の事業計画に記載がないようですが、これに関してはもう行わないのでしょうか。

②入館者数の件ですが、コロナになる前は8月、10月、2月に入館者数が増加する波があります。コロナになってからはそのバランスが崩れて、なかなか回復しませんでした。今年度は9月と12月にコロナ前の水準に戻ってきています。ただ8月と10月に関しては伸び悩んでいるようですので、元々この時期はなぜ入館者数が多かったのか、また今伸び悩んでいる原因は何か、について質問します。

③施設的な課題について、政府が2030年には蛍光灯の生産を中止する政策を進めています。博物館用の紫外線をカットした蛍光灯は、日本でしか作っていない状況ですので、照明器具が無くなってしまうという問題があります。蛍光灯とLEDは光の特性が違うので、照明の設定をやり直す必要があり、莫大な費用がかかります。2030年に向けた照明の対策についてどうお考えでしょうか。

④十六羅漢図の複製について、まずは無事完成してよかったなと思っています。今回の複製は元の掛け軸に近い材質で作られており、耐久性がそれほど高くありません。現在は期間を区切って公開されているようですが、こういったものは展示をすると劣化が進んでしまいます。今後の十六羅漢図の保存と活用のバランスについてお聞きしたいです。

○油原課長補佐

④からご説明いたします。十六羅漢につきましては、レプリカを作った際に、展示をすればどんどん劣化していくとお話がありました。レプリカ作成時に精巧なデータを取りましたので何かありましたら、再び複製を作るという方向で考えています。一般の市民に龍ヶ崎市にこういうものがあります、とお知らせするということがレプリカ作製の主旨なので、年に1回程度くらい市民の皆様展示していきたいと考えています。もちろん保存と活用のバランスも考えて、展示も日にちを区切って行おうと考えています。

③の蛍光灯の件ですが、当館の展示室は紫外線防止の蛍光灯を使っていますが、今は製造中止になっています。LEDへの変更も考えていますが、常設展示室の変更とあわせまして、当市の公共施設の中長期計画に盛り込んで、順次市の財政状況を確認しながら改修を進めていきたい、と考えております。

②の入館者数について、まず令和元年は平成30年に比べて大分下がっておりますが、これは企画展などのプランが少なかったというのが原因と考えています。令和2年8月と令和4年8月を比べると、4年の方は十六羅漢図の展示を行ったため入館者は増えています。しかし、それ以前の平成30年に比べますと半分以下ということになっています。令和元年度はれきみん祭があり、2日間で約1,000人前後の入館者がありましたので、入館者数が多かったということです。また10月は文化会館で社会福祉協議会が行っている「ふれ愛広場」というイベントがあり、これも1日で1,000人の来場者があるのでそれで来館者も増えています。例年の2月には市内外からの小学校見学がありますが、昨年、一昨年はコロナの関係でほとんど来館出来なかったため、入館者数に変動があります。

①のれきみん祭についてですが、コロナ禍もありますが、ボランティアの方からの炎天下でテントだけで行うのは、年齢のことも考慮してほしいという申し出を踏まえて中止としました。しかし10月の「ふれ愛広場」の駄菓子屋については、ボランティアの方々に継続してほしいとお願いをしています。職員だけでは対応しきれないので、ボランティアの方々と連携しながらやっていきたいと考えています。

○田中委員

②から④まで答えていただいたことは、分かりやすかったと思います。また①につきましても、おっしゃる通り昨今の夏場の暑さは若者も倒れてしまうくらいなので、8月にやらないというのは妥当な判断かと思います。県立歴史館でも「歴史館まつり」というのを行っていますが熱中症で倒れる方もいて時期を調整していくことを考えています。

歴史系の博物館は特に子どもたちと触れ合う機会が少ないです。低学年の子にもわかるような展示をすることはとても難しいのですが、展示がわからなくとも子どもたちが来るような機会があれば記憶に残って、大きくなってからまた来てくれるかもしれないと考えて県立歴史館でもイベントを行っています。そういう意味でいうと龍ヶ崎のれきみん祭のように毎年1,000人の方が来るくらい一般化しているお祭りを、完全になくしてしまうのはもったいないと思います。時期をずらすなり、他のイベントと合体するなりして名前だけでも残すようにしたらいいのではないかと思います。

○油原課長補佐

れきみん祭は、隣の文化会館の盆踊り大会に合わせて行うようになりましたが、夏の暑い時期だったので、対応が難しくなりました。職員だけでは手が足りませんので、ボランティアの方と協力して何らかの形で資料館をPRするような方策を考えているところです。

○酒入議長

ありがとうございます。他の方からご質問ご意見ありましたらお願いします。

○佐藤委員

①入館者数の件ですが、やはり何か今までと違うものが展示されているときに増加しているようです。遺跡発掘の調査報告や十六羅漢の展示の際に、広報で周知して職員による展示解説を普及事業の一環として行なうということを提案したいです。

②歴史民俗資料館のエントランスホールに織り機が4台並んでいますが、果たしてそのような形で置いて活動してよろしいのでしょうか。メインの撞舞展示は、「スバル」や織り機が置いてあることで見づらくなってしまっています。エントランスホールは何も置かないか、館内展示の資料を置くようにして来館者がスムーズに見る事ができるようにしてほしいと思います。ボランティアさんの活動や成果は理解していますが、エントランスホールの役割について考えてほしいと思います。

○油原課長補佐

①の展示解説（ギャラリートーク）のようなものは、すべての展示ではないですが何度か行っています。ボランティアの作品展ではボランティアさん自身が解説していますし、その他の展示でも随時職員が行っております。

②のエントランスホールの織り機についてですが、かつての地場産業を実演展示する効果もあると考えています。一方ご指摘の通りメインの展示が見づらいという問題もありますので、例えば撞舞の時期は織り機を移動して、撞舞を主とするなどの展示を考えています。また公共施設の中長期計画の中に、エントランスホールの展示替えを盛り込んでいくなど、継続的に見直していきたいと考えています。

○酒入議長

ありがとうございます。外部から、展示の目的といった大きな視点からみた展示の在り方に対するアドバイスということで、それらを参考にして計画を立てていく、ということをお願いします。

○秋山委員

学校関係者という立場でお話しさせていただくと、小学3年生に対する見学事業は私も昨年参加させてもらいましたが、展示品も充実しておりましたのでこれが毎年続けられると良いと思いました。

①学校の先生たちはこの施設の事をあまり知らないなので、夏休みくらいに小学3年生の先生方を対象に研修会を行って、施設の事や展示品の事などを教えれば良いと思います。

②6年生は歴史の授業が始まりますので、出前授業のようなものを行えば良いかと思っています。

③子どもたちが興味を持つものとして、昔の遊びとしてお手玉づくりやベーゴマなど、また火起こし体験なども良いと思います。

○佐藤委員

田中委員に質問します。茨城県近代美術館や県立歴史館では出前授業は行っていますか。

○田中委員

近代美術館の方は今不明ですが、県立歴史館では行っています。

○佐藤委員

やはり子どもたちには本物を見せた方が良いので、そういうことをお考えであれば、他の状況も調べて頂きたいと思います。

○油原課長補佐

②の出前授業についてですが、文化財や撞舞についてなど要望はあるのですが、対応できる職員が限られてしまうのが実情です。

①の博物館と学校の連携（「博学連携」）については学校の方からも要望を出していただけますと、連携協議が進めやすいかと思っていますので、ぜひよろしくお願いします。

③の昔の遊びの件ですが、ベーゴマ体験などは以前はれきみん祭で行っておりました。今はそういう遊びの要素を取り入れた展示を計画しているところです。

○酒入議長

学校と博物館が連携していくためには、このような場での意思疎通が必要になってきます。私が以前いた栃木県の小山市では、博物館の中に学校との連携を担当する部署がありました。年行事のような形で何年生はなに、という風に決まっていた。

資料館の中に担当者を作って、学校との連携にあたらせるということが必要だと思えます。

他にございませんでしょうか。

それでは、議案第2号につきましては、本日いただいたご意見を参考にしながらより良い事業ができるよう、運営を行っていく、ということでよろしいでしょうか。

○各委員

「異議なし」

○酒入議長

ありがとうございます。それでは異議なしと認め、議案第2号「令和5年度歴史民俗資料館事業計画（案）」について可決いたします。

最後になりましたが、議案第3号「中期事業計画の進捗状況について」、事務局の説明をお願いします。

○油原課長補佐
(資料に基づき解説)

○酒入議長
ありがとうございました。先ほどの事務局からの説明につきまして、ご意見やご質問などあればお願いいたします。

○沼田委員
①スタンプラリーについてですが、観光物産協会でスタンプラリーをやっていますので、資料館独自でスタンプラリーをやるより、すでに行っているところと一緒にやった方が費用も抑えられるし、市民も始めるのにハードルが低いのではないかと、思います。
②旧北文間小の「長興学校」資料室についてです。見学するときは「ニューライフアリーナ」を管理している指定管理者に連絡をする必要があります。ところがその情報はニューライフアリーナホームページには載っていないで、市のホームページの文化・生涯学習課のところに載っているという状態です。このようにあまり知られていない状況で、解説もなく展示してあるだけなので、これこそ職員が展示解説する日を設けるなどできると思います。外部から見ると、校舎を残そうとしていた住民や市民団体の方々は何をしているかと考えてしまいます。資料館だけでなく住民や市民団体への働きかけも必要かと思えます。

○油原課長補佐
②の件ですが、市の方ではスポーツ都市推進課が担当しており、また管理は指定管理者「たつのこまちづくりパートナーズ」が行っております。ですからそこで展示解説をするとか、地元の市民の方への働きかけ、などは担当課を通して指定管理者と協議していく必要があると思います。
①のスタンプラリーについてですが、観光物産協会や所管課の商工観光課と協議していきたいと思えます。

○飯島委員
観光物産協会会長の飯島です。以前ニュータウンでお店の協力を得てスタンプラリーを行っていましたが、コロナ禍ということもあり、QRコードを利用したデジタルスタンプラリーを始めました。去年は「若柴宿」ということで好評をいただきましたので、今年度予算化しましてきちんとしたQRコードのシステムを構築して、市内の公園を巡るスタンプラリーを2月から開始しました。来年度は歴史館と協議しながら、商工観光課とともに検討していきたいと思えます。

○由利係長
来年度もスタンプラリーの予算を計上してありますか。

○飯島委員
予算は計上しています。まだ具体的に何をやるかは決まっていません。今年度も寺社仏閣を巡る、という案もあったのですが、調整が困難ということで公園を巡るコースになりました。

○由利係長
わかりました。今後のため、資料館との連携についてお含みおきください。

○飯島委員

検討しておきます。

○酒入議長

資料館のより良い事業のために、難しい面もあるかとは思いますが、連携を進めていくことができれば、市民の声に応えていくのが一番ですのでよろしくお願いします。

よろしいでしょうか。それではこちらの議案第3号「中期事業計画の進捗状況について」、ご質問、ご意見ないようであれば決議に移ります。只今ご意見をいただいた件につきまして異議ありませんか。

○各委員

(異議なし)

○酒入議長

ありがとうございます。異議なしと認め、議案第3号「中期事業計画進捗状況について」を可決いたします。

以上で本日の審議はすべて終了となりますが、よろしいでしょうか。それでは事務局の方、色々大変とは思いますがよろしくお願いします。本日の審議は終了となりますので事務局にお戻しします。

○油原課長補佐

それでは、本日皆様から頂きましたご意見を今後の運営に活かしていきたいと思えます。以上をもちまして令和4年度第1回龍ヶ崎市歴史民俗資料館運営審議会を閉会いたします。

令和5年2月9日に開催された会議の内容については、上記のとおり相違ありません。

令和 5 年 2 月 日

議事録署名人

議事録署名人